

原文：

White Band Day 2: September 10 2005

Mobilisation Guide

Global Call to Action Against Poverty

Wake-Up To Poverty

ホワイトバンドデー2：2005年9月10日

動員ガイド



グローバルな貧困根絶運動 (Global Call to Action Against Poverty)

貧困に目を覚まそう (Wake-Up to Poverty!)

www.whiteband.org

ホワイトバンドデー2：何をやるの？なぜやるの？

ミレニアムサミットから5年経った今年9月14~16日、世界のリーダー達が、国連ミレニアム開発目標（MDG）+5サミットに集まり、ミレニアム開発目標に対する進展状況について話し合う。今までのところ、MDGを達成するための努力は、必要とされている度合いと比べて嘆かわしいほど不十分である。だからこそ、9月10日のこのサミットの直前に、グローバルな貧困根絶キャンペーン（Global Call to Action Against Poverty、G-CAP）はホワイトバンドデー2を開催するのである。ホワイトバンドデー2とは、G-CAPによる一連の大規模な国際動員の2回目である。G-CAPは、政治家達はMDGを達成するという彼らの約束を守らなければならないのだという明確なメッセージを、世界中の政府に対して発する。それとともに、私達は、貧困をいまだ終わらせることに対する支持の広さと厚さを示すのである。

G-CAP国際促進グループは先月バンコクで会議を開き、国連サミットに焦点をあてた幅広いメッセージとアクションをまとめた。この動員ガイドは、この会議で合意されたアクションとメッセージの概要を説明している。もちろん、国内連合は各自のメッセージとともに各自のイベントとアクションを開催していくことになるが、もし私達が団結して声をそろえて発言すれば、私達のリーダーらが手遅れになる前に行動を起こすための力強い影響力と圧力を与えることができる。

国連ミレニアム開発目標サミット+5に対するG-CAPからのメッセージ

国際レベルにおいて、私達は、富裕な国々と国際機関が、貿易ルールを変え、援助・債務削減の量と質を改善するよう要求する。国内レベルでは、G-CAPの国内連合は、MDGを進展させるのに最も緊急に必要とされる具体的な変革と、その国における貧困克服のための政策を強く求める。

以下は最近バンコクで開催された会議において合意された5つのメッセージと、これらの政策要求をどのようにスローガンに書き換えるかを提案したものである。これらはG-CAPの連合を結びつけるための幅広い枠組みとして作られた。つまりこれらのスローガンやメッセージの組み合わせをその国の文脈に合うように検討するのはそれぞれの国内連合の自由である。しかし声を合わせてメッセージを発することでより力強いものになることが期待される。

1. 守られていないMDG：（スローガン例：男女平等を今！家父長制に終止符を）
2. 人間中心の安全保障：（スローガン例：不安と貧困からの平和と自由を、尊厳を持って生きる自由を／持続可能な生活を、環境・社会・食料・生活・経済の安全保障を）
3. 良質の公共サービス・資源を得る権利：（スローガン例：民営化にNO／無料の教育・医療サービスを、皆のための水を、利用者手数料を今なくそう）
4. 公正な民主的統治：（スローガン例：私達のお金の無駄使いをやめて——人々のため

の統治を——貧困対策を／知る権利を守って／汚職をなくそう——北も南も／人権侵害をストップ／説明責任のある国際金融機関へ／人々に説明責任を果たそう)

5. 債務帳消し、貿易公正、援助の質・量の大幅な改善（スローガン例：約束を破るのをやめて／この債務は不当だ）

G-CAPホワイトバンドデー2：世界的に協調された国内アクション

バンコクの会議における、世界的に協調された国内連合のアクションに関する提案もまた、幅広いガイドとして作成したにすぎない。各グループがすでに持っているホワイトバンドデー2のための計画に組み込んだり、地域・国内の文脈に合う形で採用したりしてもらいたい。しかし、私達が共同のイニシアチブに基づいて団結すれば、いっそう力強くなれることを記憶にとどめておいてほしい。

貧困に目を覚まそう！
(Wake-Up to Poverty!)
アクション



主要なアクションには、サミットに行く各国の代表団に対する警告活動がある。私達は世界のリーダー達に、貧困に対して行動を取ることを求める、人々の声を聞かせたい。各国が国連サミットに4人ずつの代表団を送ることが許されているため、このアクションの目的は、ニューヨークに発つ前に彼らの「目を覚まさせる」ことにある。だから9月10日のホワイトバンドデーには、何百万もの人々が、自国の政治家達に対する「貧困に目を覚まそう！」というスローガンとともに、文字通り彼らの目を覚まさせるのである。これらのアクションはニューヨークでも、サミットの開会日に代表団の「目を覚まさせる」目覚まし時計を使うなどのパフォーマンスとともに繰り返される。

「貧困に目を覚まそう！」アクションの下に行われるアクションには、大きく分けて以下の4つがある。

1. 貧困に目を覚まそう！ロビー会議

・朝食ロビー会議：9月10日に、国連サミットに行くあなたの国の政府代表団の一人と、「貧困に目を覚まそう！」朝食会議を設定する（あなたの国の代表団についてもっと知りたい人は、info@whiteband.orgまでメールしてほしい）。国内連合の代表だけでなく、経験を語ってもらえるように貧困によって直接影響を受けている人にも出席してもらおう。

・「貧困に目を覚まそう！」署名・証言を手渡す：貧しい人々、社会的に無視された人々からの証言を何千も集め、あなたの政府の代表団に手渡す（収集しうる「貧困に目を覚まそう」証言の例については、後述の「地域でのアクション」のセクションを見てほしい）。または、あなたの国の政策に関する要求に対して、なるべく多くの人々に署名してもらい、政治家に手渡す。

・「目を覚まそう」報道陣の召集：もしあなたが会議を設定できなかったら、あなたの政府があなたとの会議を拒否したことを明らかにするために、早朝に報道陣の召集の場を設定する。そしてこの場を、あなたの国内連合の要求をメディアに伝える場として使う。一つのアイデアとしては、この記者会見の場に、あなたの政府の代表が座るはずだったが誰も座っていない椅子を象徴的に置くか、ここにダンボールで作ったその人の人形を座らせてもいい。

囲み記事1：シャドー・レポート（陰の報告）を行う：多くのグループが、MDGの目標と貧困克服に向けた自国の政府の進展に関して「シャドー・レポート（陰の報告）」を行う

ことを提案している。このようなレポートはロビー会議の間やあなたの国の進展をメディアに伝えるのに格好の提言ツールとなりうる。

あなたがアクションを行う日に、国連大使にファクスで手紙を送ってもいいかもしれない。

2. 貧困に目を覚まそう！集会、デモ、マーチ

これらのイベントはいくつかの形態を取ることができる。例えば：早朝に、国会議事堂か、代表団のうち一人の家に向かってマーチをする、集会を行う。または外で徹夜の座り込みをして、あなたの政府に対して大きな声で目覚ましのお祝いをして終わる。

・「貧困に目を覚まそう！」集会とマーチ：もしあなたが集会やマーチを企画しているなら、政府庁舎か、あなたの国のサミット政府代表団のうち一人の家をターゲットにしよう。

・目覚ましモーニングコール：もしあなたがサミットに行く代表団のうち一人の家に入アクセスでき、訪問する許可をもらえたら、朝早くに「ドアをノックする」アクションをしてはどうだろう。貧困によって影響を受けている人々のグループを連れて行き、メディアを招待してついてきてもらって、彼らの家のドアをノックしよう。

・「貧困に目を覚まそう！」ジャンボリー（民族音楽コンサート）またはフェスティバル：あなたの国にはもっとお祝いムードのアクションが合うと感じるかもしれない。その場合、貧困克服の大規模なカーニバル、ジャンボリー、フェスティバルを開催しよう。早朝に開始して、著名なVIPに貧困克服に関する集会スピーチをしてもらおう。

・徹夜での「貧困に目を覚まそう！」座り込み：政府庁舎の外でキャンドルをともして夜通しの座り込みをして、朝に大規模で象徴的な「貧困に目を覚まそう！」アクションをして終わる——例えばマーチやフェスティバル、または参加した全員が目覚まし時計を鳴らしてもいい。

・代表団を見送る：多くのグループがすでに自国の代表団が出発する際に空港で彼らを見送るイベントを計画している。彼らがサミットに出かける前に、市民社会が自分たちの要求を聞かせる最後のチャンスとして企画している。

・国連の建物の外での集会：もしあなたの国に国連の建物があれば、その建物の外で集会を開催してはどうだろう。

囲み記事2：目覚ましを象徴する

あなたのアクションの中で目覚ましを表現する方法は多くある。報道陣の召集の場で巨大な目覚まし時計を使って時間切れが迫っていることを象徴するグループもあるし、また集会の参加者に目覚まし時計を持ってきてもらい、全員同じ時間に目覚ましを鳴らすこともできる。

または、集会の参加者全員が目覚まし時計のロゴマークのついた「貧困に目を覚まそう！」G-CAPポスターを掲げることもできる。私達からG-CAP国内連合宛に少量ではあるがこれらのポスターをお送りする。これらのポスターを見たりダウンロードした

りするには、www.whiteband.org/Lib/take_action/download/en にアクセスしてほしい。

3. 貧困に目を覚まそう！メディア活動

・ テレビ、ラジオの朝の番組に早朝「貧困に目を覚まそう！」時間枠を設けさせる：ラジオ、テレビの、早朝番組の時間枠を確保する、もしくは全国紙・地方紙の朝刊に 貧困に目を覚まそう！ 記事を掲載させる。

・ 「私は貧困で目を覚ます」短編映画・インタビュー録画を作成する：あなたの国において、毎日貧困で目を覚ます経験を直接している人々について短編映画やインタビュー録画を作成し、それが彼らにとって、毎日何を意味するのかを知らせる。映画「私は貧困で目を覚ます」国際バージョンは8月中旬から手に入れることができる。

4. 貧困に目を覚まそう！地域アクション

地域でのアクションに関するその他のアイデア：

・ あなたの地域のコミュニティで、できるだけ多くの手紙や署名をホワイトバンドに書いたものを集める。貧困の中で生活している人々から毎日「貧困で目を覚ましている」経験についての証言をできるだけ多く集める。これらの「私達は貧困で目を覚ます」証言はあなたの政府に提出してもいいし展示会で展示してもいい。

・ 「貧困に目を覚まそう」メッセージを礼拝や礼拝への呼びかけに組み入れてもらう。

・ できるだけ多くのあなたの地域の学校に「貧困に目を覚まそう」集会を開いてもらう。

・ あなたの地域の議員を「貧困に目を覚まそう」早朝会議に招待する。

囲み記事3：ホワイトバンドアクション

あなたのアクションにG-CAPのシンボルであるホワイトバンドを使うのをお忘れなく。イベントに参加するできるだけ多くの人々にホワイトバンドや白い服を身に付けてもらおう。ホワイトバンドを使ったり、これらを「目を覚まそう」アクションに組み込んだりするその他のアイデアは以下のとおり。

・ 時計台をホワイトバンドで巻く。

・ もし白いバナーやあなたの国の連合のスローガンを掲げたりするのなら、「貧困に目を覚まそう！」スローガンも掲載しよう。

・ 人々の通勤途中にある建物をホワイトバンドで巻く——彼らが貧困に目を覚ますように。
人々は、シンボル——ホワイトバンド——で私達が何者かが分かるだろう

協調された地球規模のEメール・テキストアクション

G-CAPは、ホワイトバンドデー2用にウェブサイトにはホワイトバンドデー2「貧困に目を覚まそう」セクションを設けている。ここには各国の計画についての情報、教材、人々からの証言、「目を覚まそう」Eメールアクション、ホワイトバンドデー2に参加した人々の数を知らせる地球規模のカウンターをアップしていく。私達は世界中でアクション

を起こした人々、EメールやSMS（携帯電話のショート・メッセージ・サービス）を送った人々の数を数えていく——ホワイトバンドデー2前後から地球規模のオンラインカウンターを開始する。同時にこれは国連サミットに手渡される地球規模の「貧困に目を覚まそう」署名を作成することになる——ホワイトバンドデー2のためにあなたの国でアクションを起こした人々の数をEメールで知らせたり、Eメールアクションを起こしたりしてあなたの声をこの要求に加えよう。

G-CAPのMDGサミット国際イベント

ホワイトバンドデー2に行われる国内レベルの動員とともに、多くのG-CAP世界的イベントが行われる——そのほとんどがニューヨークのサミットの周りで開催される予定である。これらはまだ確定ではないが、今までのところ、次のイベントについて議論されている：9月3日民衆フェスティバル。インドやガーナなどの国々での地域フェスティバルも計画されている。9月10日、ニューヨーク5番街での労働組合による年次労働者マーチはホワイトバンドを取り入れる。またG-CAPは、「民衆サミット」を開催する可能性を模索している。ここではニューヨークで国連世界サミットを映し出すために世界中からスピーカー、人々、映像を集結させることを計画している。コフィ・アナンがニューヨークのG-CAPイベントでのスピーチを申し出たため、彼に他の南のリーダー達とともに民衆サミットに参加してもらう可能性が考えられている。G-CAPはまた、国連世界サミットの間、ニューヨークにG-CAP「スペース」を設けることを考えている。

あなたのホワイトバンドデー2計画を教えてください

私達が、世界中の計画をできるだけ多く知ることができれば、それは非常に有益である。下の表1を使ってあなたの国のホワイトバンドデー2計画についてもっと教えてほしい。

G-CAP事務局がホワイトバンドデー2計画を実現する上で不足していることや妨げとなっていることを知ることもまた、重要である。表2を使って、これらの不足している点について私達に知らせてほしい。また、G-CAP事務局が、あなたの活動をもっと成功するためにどのような形でサポートできうるか知らせてほしい。例えば、コミュニケーションを促進する、メディアに関するサポートを増強する、教材の作成、十分な教材がない、財政的に深刻な不足があるなど。

表1：ホワイトバンドデー2 計画しているアクション

あなた国の国内ホワイトバンドデー2イベントについて教えてください

あなたの国のホワイトバンドデー2のための主要国内アクションは何ですか？（イベントの内容と、場所を教えてください）

このイベントに何人くらいが参加すると想定していますか？

<p>このイベントに関連する主要な国内メッセージ・政策要求は何ですか？</p>
<p>これらのイベントの日程と時間を教えてください。</p>
<p>このイベントについてのメディア・連絡のための連絡先となる人はいますか？（いる場合は名前、Eメールアドレス、詳細な連絡先を教えてください。）</p>
<p>「貧困に目を覚まそう」アクション</p>
<p>提案された「貧困に目を覚まそう」アクションのいくつかを、あなたのホワイトバンドデー2計画に組み込みますか？その場合、どのようにしますか？</p>
<p>国際促進グループ会議で提案されたG-CAPメッセージのいくつかを、あなたのホワイトバンドデーの動員の際に使いますか？（その場合、どのように？どのメッセージに焦点を当てますか？）</p>
<p>その他の計画されているアクション、地元・地域でのアクション</p>
<p>その他計画されているアクションについてもっと情報提供があればこのスペースを使って教えてください。</p>
<p>いくつかの地域や地区でこのイベントが開催されると考えていますか？何人の人にメッセージを届けられますか？</p>
<p>ロビー活動</p>
<p>あなたの政府のMDGサミット代表団のメンバーとの会議を設定することができますか？</p>

表2：必要とするサポートと不足な点
あなたがホワイトバンドデー2を計画するにあたって妨げになっている主要な点を教えてください。
必要とするサポート
国内レベルにおいてどのような、メディアに関するサポートを必要としていますか？ どのようなコミュニケーション材料があなたの連合にとって役立ちますか？（少量のホワイトバンドデー2用ポスターは全ての連合にお送りします。）教材がほしい場合はこのフォームであなたのEメールアドレスをお知らせください。
あなたの国の動員を改善するのに役に立つことで、他にG-CAPがサポートできることは何ですか？
「貧困に目を覚まそう」アクションをあなたの既存の計画に組み込むことで、あなたの国の連合にとって追加的な必要資源や仕事が発生しますか？
MDGに関してあなたの政府に対してロビー活動をする際に、ロビー用のツールキットは役立つと思いますか？

このフォームをEメールで info@whiteband.org までお送りください。可能なら8月12日までに返送してください。